

高杉教時 五七名

法人 國 訓 會

△ 予 日

國 會 午前十時三十分 開會 午後五時

開會の時

野田律大

是れは近種と共產党との何とが中傷 圧迫等が多に故して
松本の状態に陥るゝかと思はれ 評議會は其の向へて
諸君と共に奮闘して結果今日の大を為すにせうゝ
是れは委員 本家階級の逆宣傳に動かされ 奮闘力を
鈍らう 弊なきがあらはならうと述べて書記も 任命の
午後 諸君は一時 兩會。

祝電朗讀 (市村書記)

今後の発展を祈り 自由労働同盟

労働組合 同會を祝す 組合統一に協力せよ 九州聯合會

「運動の最」理解と同情ある貴會の同會を祝す

因東無俸給者組合

「鉦」近正義に忠實である 日本労働同盟

(一) 報告

本館常任委員會報告として報告書も朗讀す (鉦山貞親)
之れは新しき議の一般的傾向 無産改良 失業 回帰 青年運
動の方針 (青年同盟) 此は年中は五月 青年運動の必要 是れを以
て (國際的提携) インターナショナルの因俊 (是れは 鉦山貞親) 具体的
書へ付て 竹員同ありたり 鉦山は (市議卿) 同あり 具体的

國 財 協 同 會